

CSR重要課題 02

Environmental protection

環境 保全

主なSDGsとの対応関係



OUR APPROACH

私たちは、製品による環境への貢献の他に、事業活動における環境負荷低減の側面からも環境保全に取り組んでいます。事業活動では、製造における各工程でのエネルギー使用の削減や、廃棄物発生抑制、再利用、再生利用の推進に取り組んでいます。中でも地球温暖化防止については、パリ協定やSDGsを踏まえ、東洋アルミグループの創立100周年である2031年にCO₂排出量30%削減(2013年度比)を長期目標に掲げており、今後、具体的な取組みを推進していきます。また、生産拠点を中心とした15拠点ではISO14001の認証を取得しています。環境マネジメントシステムの効果的な運用を通じて、環境トラブル発生防止や各種法令の遵守に加え、環境負荷の低減を図り、持続可能かつ地球環境と調和した経営活動を推進します。

ライフサイクル全体で環境負荷を考慮し、
これからの社会が求める環境活動を
展開していきます。

環境保全活動においては、事業の成長も図りつつ、環境負荷も抑えていくという2つの側面を両立させていくことが必要です。特にアルミニウムの加工には多くのエネルギーを必要とするため、今後は化石燃料以外の代替エネルギーなど、エネルギー源の転換も喫緊の課題として検討しています。毎年のように大規模な自然災害が発生するなど、気候変動リスクは高まっていると思われます。新型コロナウイルスで、世の中の通例が変わったと言われるが、5GやDX、モビリティ革命など、今はさまざまな技術や概念の変わり目なのでしょう。これまでの当たり前を当たり前とせず、モノづくりを根本から見つめ直すことが必要です。環境に対しても、これまでの延長ではなく、新たな考え方で取り組んでいきます。



執行役員
エンジニアリング
センター担当

麻生 敏

2019年度の主な取組み

CO ₂ 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ■使用エネルギーの見える化 ■歩留まり改善のための事業部門資材リサイクルの推進 ■照明器具のLED化の推進を全事業所にて実施
省資源・リサイクルシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ■使用済みアルミ箔製品の回収・リサイクル ■蒸発する圧延油を回収する仕組みが完成 ■廃棄用インキ回収システムの実装 ■ペーパーレス化の推進 ■焼却炉廃止に伴う新たな廃棄、処理方法の検討
生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> ■三保の松原清掃活動への参加 ■事業所周辺でのプラスチックごみ清掃活動への参加 ■下水排水路の観察

CSR活動アクションプラン 2019年度の成果

- 事業活動からのCO₂排出量削減(2013年度比)
→目標 2.5%削減(前年度比) 実績 6.1%削減
- 太陽電池のリサイクルシステム構築
→ステークホルダーとの対話開始
- アルミニウムのリサイクルシステム構築
→ステークホルダーとの対話開始
- 紙容器のリサイクルシステム構築
→ステークホルダーとの対話開始
- 事業活動からの産業廃棄物削減
→目標 原単位2%削減(前年度比) 実績 原単位21.5%増

※これまで有価売却していた廃溶剤、廃プラの一部が、市況変化により産廃処理へ切替となったため目標未達となりました。

Practice case

CSR重要課題実践事例

case 01 事業活動からのCO₂排出量削減

IoTの活用による使用エネルギーの見える化

各生産設備に稼働データを取得できる機器を導入し、どの設備でどのくらいのエネルギーを使っているかをリアルタイムで把握できる仕組みを構築中です。今後は、得られるデータを活用して、さらなるエネルギーの最適化を図っていく予定です。



case 03 事業活動からのCO₂排出量削減

照明器具のLED化

全事業所において照明器具を、従来のハロゲンからLEDに置き換えました(2019年度は80%実施)。これにより消費エネルギーの削減を図るほか、LEDの特性により防虫効果も発揮され、製品品質の向上につながりました。



case 02 アルミニウムのリサイクルシステム構築

使用済みアルミ箔製品の回収・リサイクル

東洋アルミエコープロダクツ(株)は、ユーザーの協力も得ながら、使用済みのアルミ箔製品を回収しリサイクル(2次合金化)を進めています。2019年度は一般社団法人北陸グリーンエネルギー研究会を通じ接触を持つこととなった、北陸3県の地元企業・生協などと情報交換を進めながら、事業者レベルでより具体的な回収～再生化ルート確立を目指して活動してきました。2020年度は各自治体主催の地元環境フェアなどへの出展を通じ、地域の皆さんへ直接、活動の意義や協力方法などをお伝えしていくことで生活者レベルでもさらなる理解と協力が得られるよう、引き続き活動を展開していきます。

case 04 循環型社会への貢献

圧延油の回収システム完成

圧延時に気化する圧延油を回収する仕組みが完成しました。業界でもトップクラスの回収量が期待でき、これにより圧延油の再利用が可能となるほか、大気中へのVOC(揮発性有機化合物)排出量削減にも貢献します。

